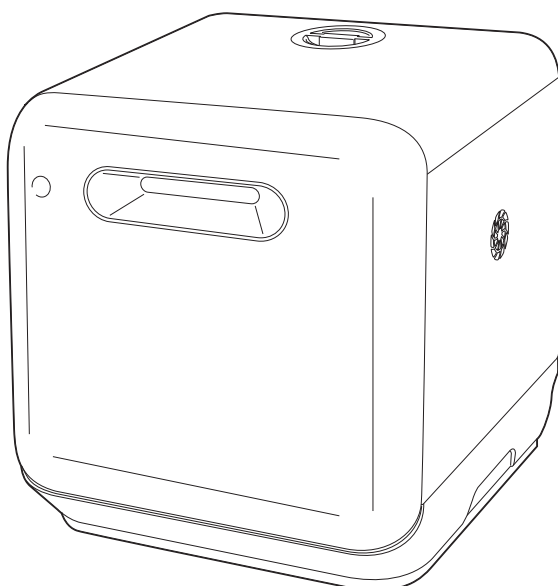


食器洗い乾燥機

ISHT-5000

取扱説明書



この商品は海外ではご使用になれません。
FOR USE IN JAPAN ONLY

保証書付 (裏表紙)

このたびは、お買い上げいただきまことにありがとうございます。

- この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。
- 使用する前に「安全上の注意」を必ずお読みください。
- この取扱説明書はお使いになる方がいつでも見ることができるよう大切に保管してください。
- 「保証書」は「お買い上げ日」「販売店名」の記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

もくじ

ご使用の前に

安全上の注意	2
使用上の注意	5
各部の名称	6

取り扱いかた

使用する前に	9
洗う前の準備	9
洗剤の入れかた.....	9
使いかた 食器を入れる	10
使いかた 洗淨コースを選ぶ	12
使いかた 給水する	13
使いかた 洗う／乾燥させる	13
お手入れ	15
据え付け	19

こんなときには

故障かな？と思ったら	22
仕様	26
保証とアフターサービス	27
保証書	裏表紙

安全上の注意

最初に、この「安全上の注意」をよく読んでいただき、正しく使用してください。
人への危害や、財産への損害を未然に防止するため、必ず守る必要があることを説明しています。

図記号の意味



注意を促す記号
です。



禁止を示す記号
です。



必ず行うことを示す記号
です。



警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。

電源プラグ・電源コードは正しく使う



- 電源プラグのほこりは定期的に取り
ほこりがたまると、湿気などで絶
縁不良になり、火災・感電の原因
になります。

- 電源プラグはコンセントの奥まで
確実に差し込む
ショートによる火災・感電の原因
になります。



プラグを抜く

- 電源プラグを抜くときは、電源
コードを持たずに必ず電源プラグ
を持って引き抜く
電源コードが破損し、火災・感電
の原因になります。

- お手入れするときや長期間使わな
いときは、必ず電源プラグをコン
セントから抜く
絶縁低下により、火災・感電の原
因になります。



ぬれ手禁止

- ぬれた手で電源プラグの抜き差し
をしない
感電・やけど・けがの原因になり
ます。



- 電源コードをたばねて通電しない
過熱してやけどや火災の原因にな
ります。電源コードは、必ずのば
して使用してください。

- 交流100V以外では使わない
火災・感電の原因になります。

- 電源コード・電源プラグを水につ
けたり、水をかけたりしない
ショート・感電の原因になります。

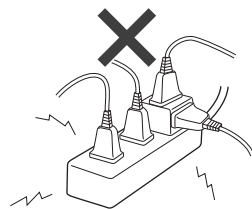


- 電源コード・電源プラグを破損す
るようなことはしない
傷つける、加工する、無理に曲げ
る、引っ張る、ねじる、重いもの
を載せる、挟み込む、高温部に近
づけるなどしないでください。電
源コードが破損し、火災・感電の
原因になります。

- 電源コードや電源プラグが傷んだ
り、コンセントの差し込みがゆる
いときは使わない
ショートによる火災・感電の原因
になります。電源コードが破損し
たときは、修理専用コールへお問
い合わせください。

- 延長コードは絶対に使わない
コンセントや電源プラグ・電源
コードが異常発熱し、発火の原因
になります。

- コンセントや配線器具の定格を超
える使いかたをしない
火災の原因になります。



- 乳幼児に電源プラグをなめさせない
けがや感電の原因になります。



- 異常・故障時には直ちに使用を中止し、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く

製品に異常が発生したまま使用を続けると、発煙・発火・感電・漏電・ショート・けがなどの原因になります。

〔異常・故障例〕

- 電源コードや電源プラグがふくれるなど、変形、変色、損傷している
 - 電源コードの一部や電源プラグがいつもより熱い
 - 電源コードを動かすと、通電したりしなかったりする
 - 本体がいつもと違って異常に熱くなったり、焦げ臭いにおいがする
 - 本体が作動しない など
- ➔使用を中止し、お買い上げの販売店またはアイリスコールへお問い合わせください。



分解禁止

- 分解・修理・改造をしない
火災・感電・けがの原因になります。
- 修理については、お買い上げの販売店または修理専用コールへお問い合わせください。



- 子どもや取り扱いに不慣れな方に使わせたり、乳幼児の手の届くところで使わない
感電・けが・やけどの原因になります。



アース接続

- アースを必ず取り付ける
故障や漏電時、感電の原因になります。アース工事は、必ずお買い上げの販売店または電気工事店に依頼してください。（工事費は本体価格に含まれません。）



- 穴、すき間、開口部に指を入れたり、ピンや針金などの金属物を入れない
火災・感電・やけどの原因になります。



水ぬれ禁止

- 本体、電源コード、電源プラグを水につけたり、水をかけたりしない
ショート・感電の原因になります。



- 火気を近づけない
タバコや火のついたローソクなどを本体に近づけないでください。
火災の原因になります。



- ガスコンロなどの熱源から15cm以上離す
火災の原因になります。



- 運転中は、絶対に庫内や食器、メッシュトレイに触れない
やけどの原因になります。



- 運転中は本体に衝撃を与えない
感電・漏電・ショートによる火災の原因になります。



- 本体のお手入れは運転終了後、30分以上経過してから行う
やけどの原因になります。

安全上の注意 つづき



注意

誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり、物的損害が発生するおそれがある内容を示しています。



- 操作パネルに磁気のあるものを近づけない
誤作動の原因になります。



- 排気口から出る湯気や排水ホースからの排水に触れない
やけどの原因になります。



- 運転中にドアを開けるときは、スタート／一時停止ボタンを押して運転が停止したことを確認する
また、高温の庫内・メッシュトレイ・湯気・食器などに充分注意して開ける
やけどの原因になります。



- 本体を動かしたり傾けたりしない
水もれの原因になります。



- 業務など家庭用以外で使用しない
本製品は家庭用として設計されています。業務など家庭用以外に使用すると、火災などの原因になります。



- ドアを開けるときの、ドアの上に重いものを載せない
落下して、けが・故障の原因になります。



- 本体の上に乗ったり物を置いたりしない
落下、破損によるけがの原因になります。



- 開いたドアや本体を強く押さない
転倒・落下によるけがの原因になります。



- 食器がはみ出た状態でドアを閉めない
ドアが変形し、熱湯や水が飛び出し、やけどの原因になります。



- ドアを開閉するときは、指を挟まないように注意する
けがの原因になります。

使用上の注意

■ 使用上のお願い



- 食器洗い乾燥機専用洗剤を使用する
台所用洗剤などを使用すると泡が大量に発生し、水もれや故障の原因になります。



- 付属品は必ず専用のものを使う
異なる製品の付属品を使用すると、付属品の破損、本製品の故障の原因になります。



- 台所用洗剤や重曹を使用しない
台所用洗剤が付いた食器は洗い流してから入れてください。また、重曹を使うと故障の原因になります。



- テレビやラジオなどの電気製品は、食器洗い乾燥機の近くで使わない
画像の乱れや雑音の原因になります。



- お湯を使用しない
お湯をタンクに入れると故障の原因になります。また本製品は給湯機に接続できません。



- 食器洗浄以外の用途には使わない
故障の原因になります。



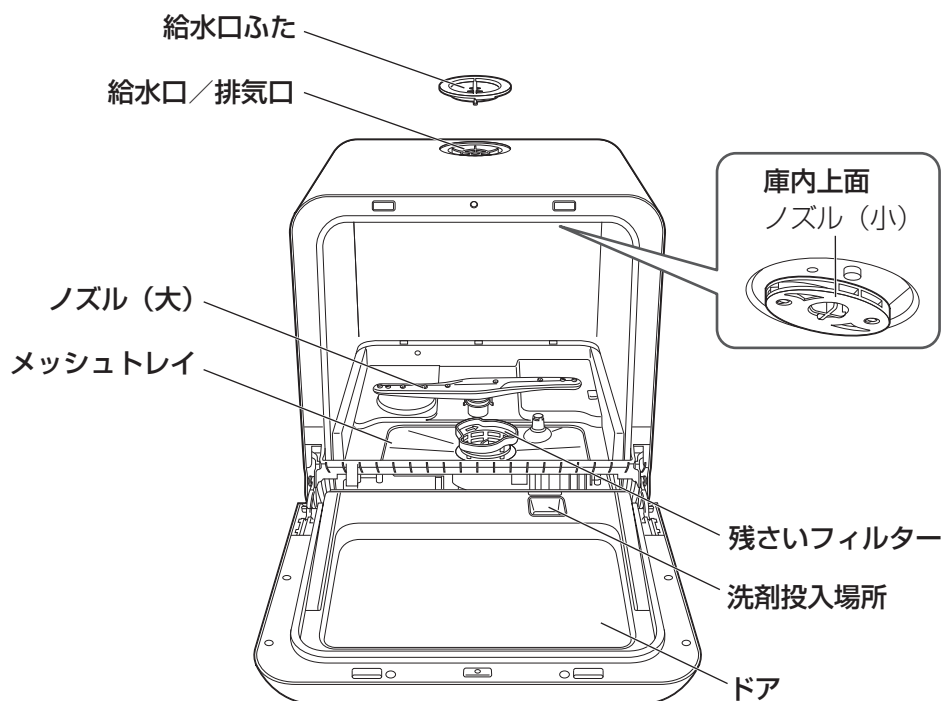
- ナイフや先の尖ったものは、尖っている方を下向きに入れるか、横に寝かせて入れる
けがの原因になります。



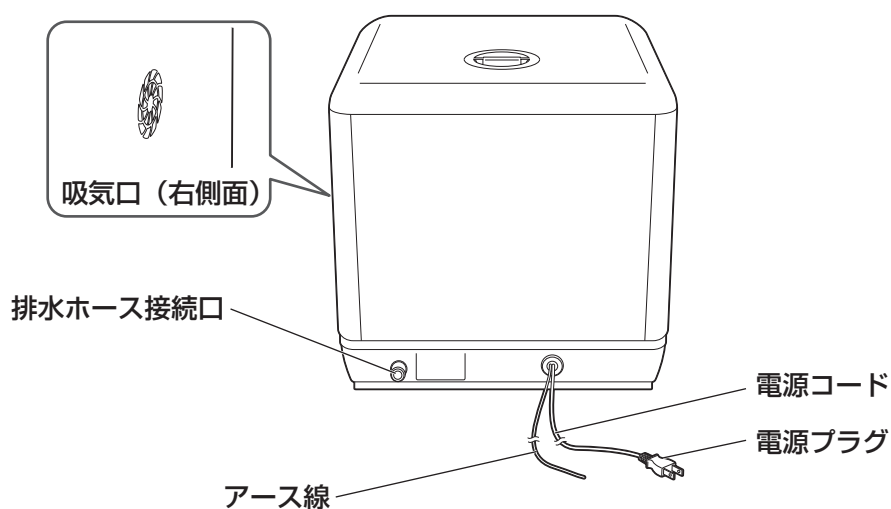
- 使用していないときはドアを閉める
設置場所によっては、手が当たったり、つまずく原因になります。

各部の名称

■ 正面



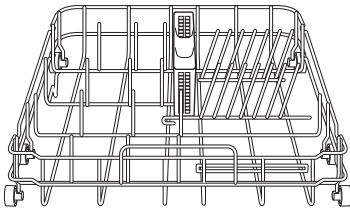
■ 背面



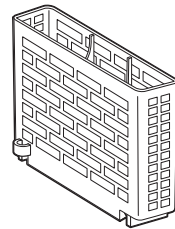
● 給水口／排気口、吸気口をふさがないでください。

■ 付属品

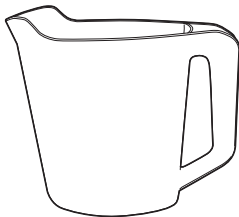
かご



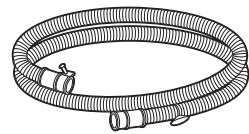
小物入れ



給水カップ

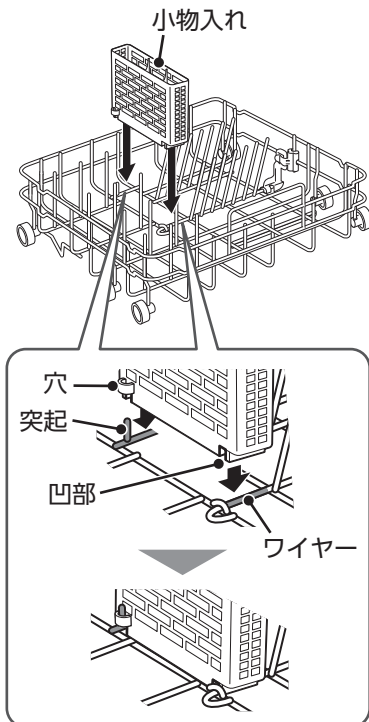


排水ホース (約1.5m / クリップ / 吸盤付き)



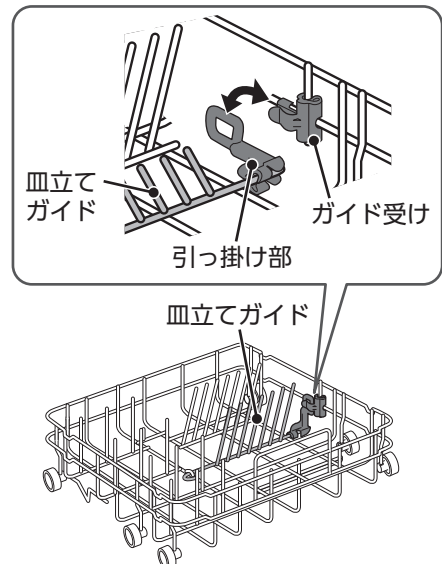
■ 小物入れの取り付けかた

- 小物入れの穴をかごの突起に通し、凹部をワイヤーにはめ込み、取り付けます。ご使用の前にきちんと小物入れがかごに取り付けてあるか確認してください。



■ 皿立てガイドについて

- 大きな食器を入れる際は、皿立てガイドを倒すことができます。
- かごに付いているガイド受けから皿立てガイドの引っ掛け部をはずすと、皿立てガイドを倒すことができます。皿立てガイドを立てるときは、皿立てガイドの引っ掛け部をガイド受けにはめ込みます。



各部の名称 つづき

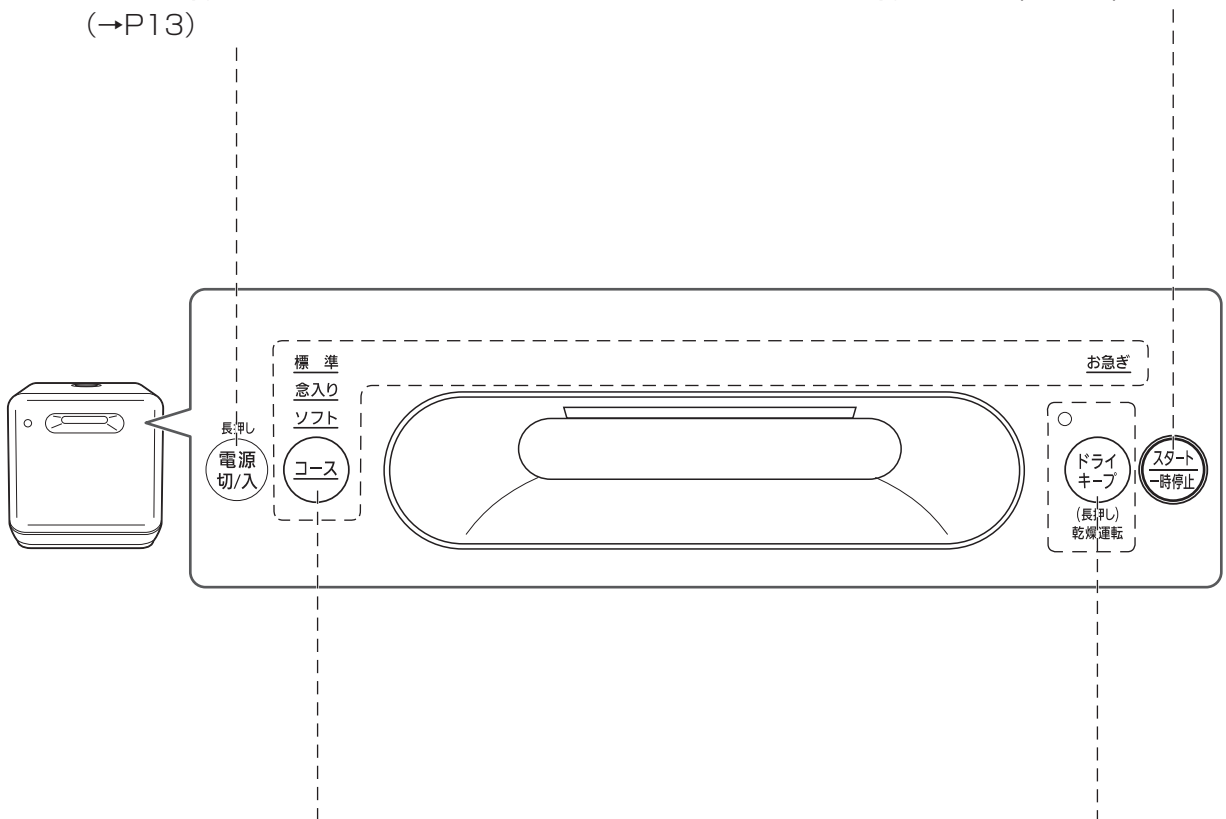
■ 操作パネル

切／入（電源）ボタン

本体の電源を入れる、切るときに長押しします。
(→P13)

スタート／一時停止ボタン

洗浄を開始する、中止するときに押します。(→P14)



コース選択ボタン・ランプ

洗浄コースを選ぶときに押します。(→P14)

ドライキープボタン・ランプ

各コースを選択中に押すと、運転と送風乾燥後にドライキープ（送風乾燥）を4時間延長することができます。(→P14)
また、長押しするとドライキープコースになり最大12時間、送風乾燥運転を行います。(→P12)

使用する前に

本製品は、説明に従って正しく設置してください。

→「据え付け」(→P19)

洗えないもの



- 強化ガラス製のもの
強化ガラス製の食器などは、洗浄中に粉々になって破片が飛び散り、けがの原因になります。
- 飛ばされやすい軽いもの
プラスチックのスプーンやふた、発泡スチロール容器、ふきん、スポンジ、ほ乳瓶の吸い口などの軽いものは、水圧で飛ばされて変形や破損の原因になります。

熱に弱いもの

- 耐熱90℃未満、及び耐熱表示のないプラスチック食器(耐熱65℃以上のプラスチック食器は、ソフトコースで洗えます)。

割れやすいもの

- 傷のついたガラス食器
- ひびの入った食器
- 木製の柄の付いたなべ、包丁

変色しやすいもの

- 銀製、洋銀製食器など
- アルミ製、銅製のなべや食器
- 木(竹、とう)製食器
- 漆塗り食器、重箱、金箔入りの食器、上絵付けの食器
- クリスタルグラス

その他

- 鉄製のフライパンなど錆びるおそれがあるもの
- フッ素加工のフライパンなどで表面に傷があるもの
- びんやとっくり
- 食器洗い乾燥機専用洗剤に洗えないものとして記載があるもの

- 上記に記載のない食器については、販売店や製造メーカーにお問い合わせください。

洗う前の準備

1 食べ残しや故障の原因になるものを取り除く

- 輪ゴムやつまようじ、魚の骨などの固いもの
- 再付着するようなごまなどの細かい残さい
- においが取れにくい魚の皮など
- 油のかたまりなどのひどい汚れ

2 きれいに落ちないものをスポンジ等でこすり落とす

- なべの焦げ付き
- 食器の焦げ付き、こびり付き

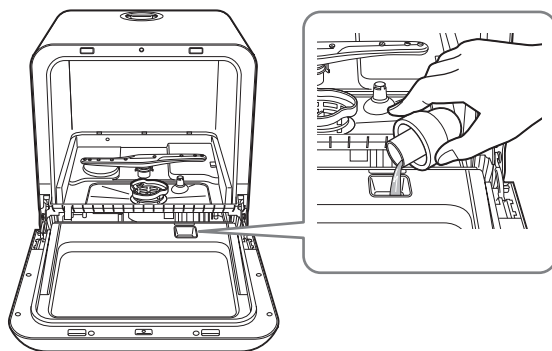
- プラスチック食器に付いた食品の色や定着した茶しぶなどの汚れは落ちないことがあります。

洗剤の入れかた

- 食器洗い乾燥機専用洗剤をご使用ください。ご使用前に食器洗い乾燥機専用洗剤に記載された、安全上と使用上の注意もご確認ください。
- 台所洗剤や重曹を使用しないでください。

洗剤は、図の洗剤投入場所に入れてください。

- 洗剤の標準量：約6g



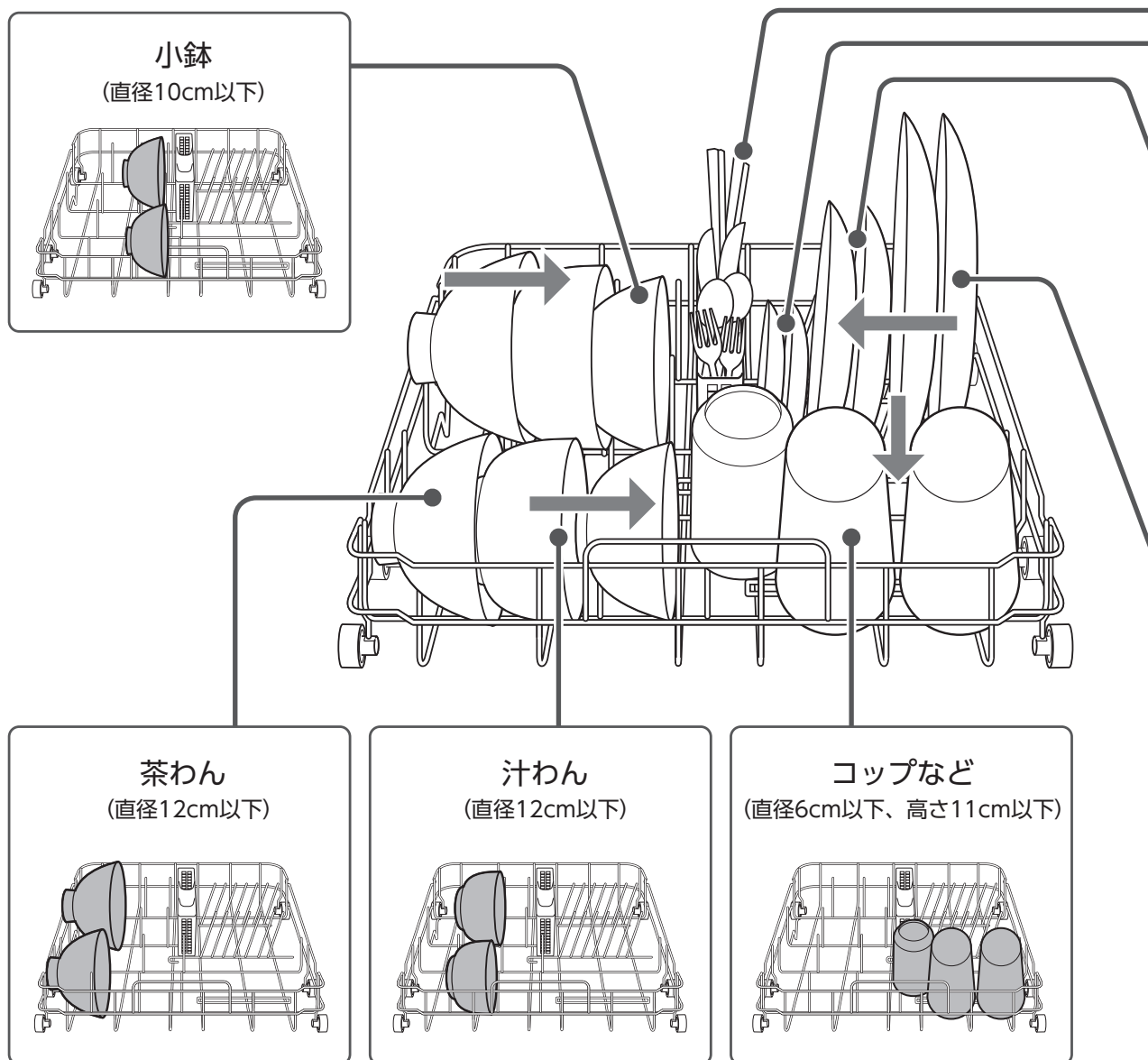
使いかた 食器を入れる

- ・ノズル（大）の噴射水が当たるように、食器の汚れた面を矢印の方向に向けて入れてください。
- ・コップや湯呑みは下向きに入れてください。
- ・おはしは汚れた面を下向きに、スプーンやフォークは上向きにして、小物入れに入れてください。
- ・図のように食器を入れると、標準食器※が15点入ります。

大皿…2点 中皿…2点 小皿…2点 小鉢…2点 茶わん…2点 汁わん…2点 コップなど…3点 小物類（はし、スプーン等）

※ 標準食器とは、日本電機工業会自主基準・

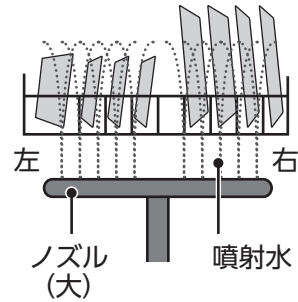
「電気食器洗い機用食器に関する自主基準」(2009年9月17日改正)に基づいた食器のことです。



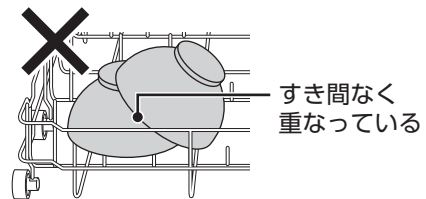
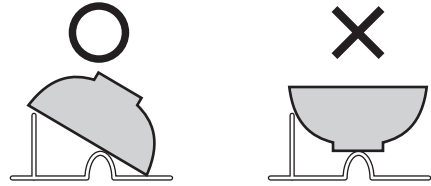
■ 食器の並べかたにご注意

- 食器は汚れた面を下に向け、ノズル（大）の噴射水が届きやすい角度で置いてください。

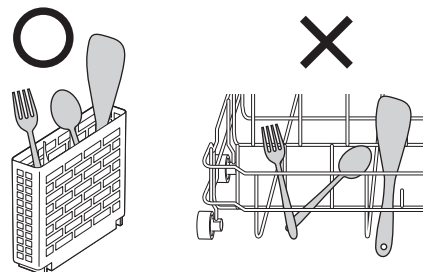
横から見た図



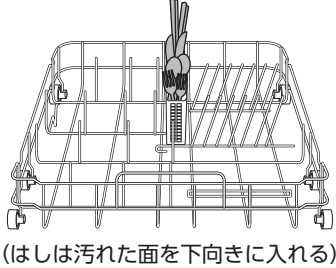
- 食器がすき間なく重なっていると、噴射水が届かないため洗浄できません。きちんと噴射水が当たるようにすき間を空けてください。



- 食器は倒れたり、落下したりしないように置いてください。
スプーンや木べらなどの細いもの、小さいものは、小物入れに入れてください。
かごから食器などが落下するとノズル（大）の回転が止まってしまう、洗浄できません。

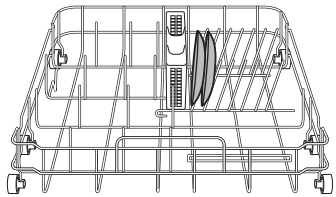


おはし・スプーンなど
(長さ22cm以下)



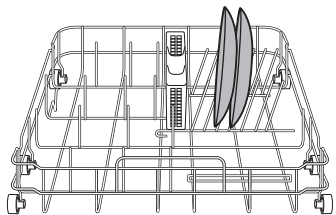
小皿

(直径12cm以下)



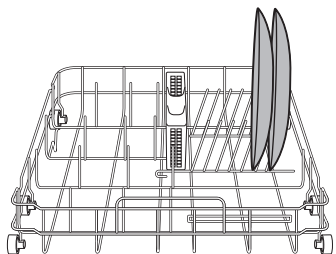
中皿

(直径17cm以下)



大皿

(直径23cm以下)



使いかた 洗淨コースを選ぶ



使用用途や食器の種類、汚れ具合などによって4つの洗淨コースからお選びいただけます。各コースとも「洗淨」「すすぎ」「送風乾燥」を行います。その後、ドライキープ（1時間）を行い、庫内の余熱で食器を乾かします。

- ・ドライキープボタンを押すと、ドライキープを4時間延長します。
- ・お急ぎコースはドライキープを行いません。

コース	こんなとき	洗淨・すすぎ・送風乾燥 時間の目安（約）	ドライキープ （1時間）	ドライキープ 延長 （4時間）
<u>標準</u>	食後すぐに洗うときや通常のご使用时	1時間30分		
<u>念入り</u>	食後から時間が経過したものや、調理器具などを洗うとき	2時間10分	あり	あり
<u>お急ぎ</u>	汚れが軽いもの、つけおきや水洗い後のものを洗うとき 他のコースと比べて運転時間が短いため、水滴が残ったり油汚れのあるものは汚れが完全に落ち切らなかったりする場合があります。	39分	なし	なし
<u>ソフト</u>	プラスチック製の食器を洗うとき、耐熱温度65℃～90℃未満のものを洗うとき プラスチック製の食器は、料理の色素で色がついてしまう場合がありますので食後すぐに洗ってください。	1時間45分	あり	あり

- ・洗淨コースの実際の運転時間は、給水される水の温度などによって変わります。
- ・すすぎの最後は加熱すすぎになります。（標準：約65℃、念入り：約70℃、お急ぎ：約45℃、ソフト：約60℃）

■ドライキープコース



ドライキープボタンを約2秒間長押しするとドライキープコースを設定できます。各コースでの運転と送風乾燥後、再結露やにおいのこもりを緩和する機能です。ドライキープ中、送風と停止を繰り返し、最大12時間で終了します。

- ・本製品は、ヒーターを使用しない送風乾燥で食器を乾かします。
熱に弱い食器にもご使用いただけますが、完全に乾かずに少し水滴が残る場合があります。

使いかた 給水する

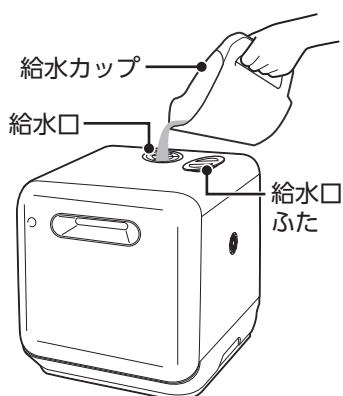
洗浄・すすぎに必要な水量（約5L）を給水してください。付属品の給水カップで内部のタンクに水を入れます。

1 切／入（電源） ボタンを長押しして電源を入れる



2 給水する

- ・ 付属品の給水カップに水を入れ、本体上部の給水口ふたをはずし、給水口にゆっくり注いでください。
- ・ 給水後は給水口ふたを閉めてください。



※ タンクが満水（約5L）になると、ピピピ♪とブザー音が鳴ります。

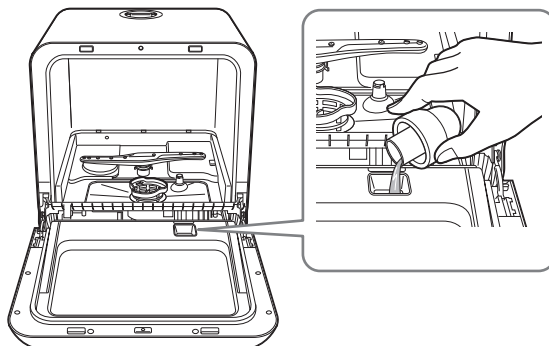
- 満水（約5L）以上の水を入れないでください。水があふれて故障の原因になります。
- お湯を入れないでください。故障の原因になります。

- ・ ご使用の度に、満水（約5L）まで水を入れてください。
一度の洗浄で水はすべて排水されるため、洗浄する度に給水してください。

使いかた 洗う／乾燥させる

1 給水した後、ドアを開けて食器洗い乾燥機専用洗剤を入れる

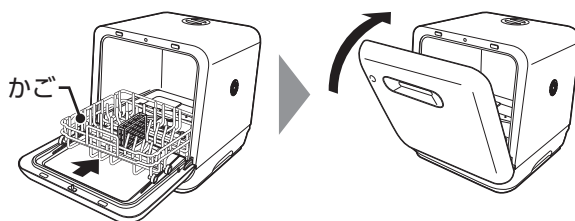
- ・ 洗剤の標準量：約6g



- 食器洗い乾燥機専用洗剤以外は入れないでください。
- ドアと本体のすき間に指を入れないでください。ドアの開閉時に指がはさまれ、けがの原因になります。

2 食器をかごにセットして庫内に入れ、ドアを確実に閉める

➡ 「食器を入れる」(→P10)



3 コース選択ボタンを押して、洗浄コースを選ぶ



- ・選んだ洗浄コースのランプが点灯します。
→「洗浄コースを選ぶ」(→P12)

■ ドライキープ延長を設定するには

- ・ドライキープボタンを押してください。



ドライキープランプが点灯します。

各コースの運転と1時間の送風乾燥（お急ぎコースを除く）終了後、ドライキープランプが点滅し、ドライキープが始まります（最大4時間）。

ドライキープの運転中にスタート／一時停止ボタンを押す、またはドアを開けると、ドライキープがキャンセルされ、運転が終了します。

4 スタート／一時停止ボタンを押して、洗浄を開始する



運転が終わると、ブザー音が鳴りドライキープランプが点滅して、ドライキープが始まります。（お急ぎコースを除く）

- ・運転中に停電などにより電源が切れた場合、電力復帰後中断したところから運転を再開します。

■ 一時停止する

運転中にスタート／一時停止ボタンを押す



一時停止中に再びスタート／一時停止ボタンを押すと、運転を再開します。

- 運転中にドアを開けると庫内から水滴が落ちる場合があります。

■ 運転開始後に洗浄コースを変更する

運転開始後10分以内であれば、運転中の洗浄コースを取り消して、他の洗浄コースに変更することができます。

① スタート／一時停止ボタンを押す



運転を一時停止します。

② コース選択ボタンを約3秒間長押しする

運転中の洗浄コースが取り消されます。

③ 給水する(→P13)

タンクが満水（約5L）でないと運転を開始できません。

④ 洗浄コースを選び、スタート／一時停止ボタンを押す

選りなおした洗浄コースで運転を開始します。

5 運転終了後、食器を取り出す

運転が終了すると、標準ランプが点灯し、30分後すべてのランプが消灯します。かごをゆっくり引き出し、手前から食器を1つずつ取り出してください。

- 運転終了直後は庫内が高温になっているため、運転終了後30分は庫内に触れないでください。
- 食器が乾いていてもドアや庫内などに水滴が残りますが、故障ではありません。水滴が気になる場合は、ふきんなどで拭き取ってください。

お手入れ



注意

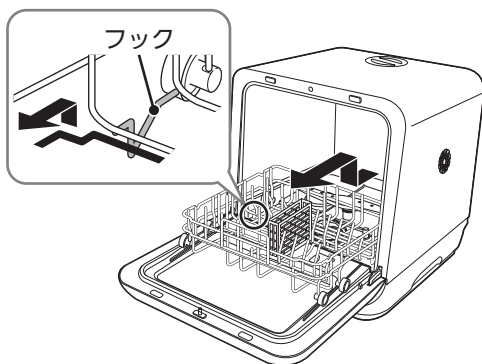
- お手入れは、電源を切って必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。
- お手入れは運転終了後、庫内が常温になっていることを確認してから行ってください。
高温部に触れると、やけど・けがの原因になります。
- 本体に水やお湯をかけたり、庫内に入れたりしないでください。
水もれや内部に水が入るなどして、故障の原因になります。また、これらによって修理が必要となった場合、保証期間内でも保証の対象外となりますのでご注意ください。
- お手入れ後に排水ホースの接続が緩んでいる場合は、しっかり締め付けてください。

残さいフィルターとメッシュトレイ

残さいフィルターは食器から取り除いた残さいがたまりますので、メッシュトレイとあわせて毎回お手入れしてください。
残さいフィルターが詰まると洗浄効果が落ち、におい移りなどの原因になります。
また、故障の原因になります。

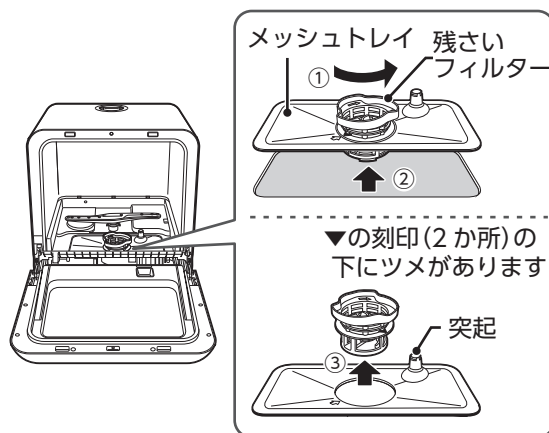
1 かごを取り出す

前に引き出してから少し上に持ち上げ、フックをドアの縁からはずしながら取り出します。



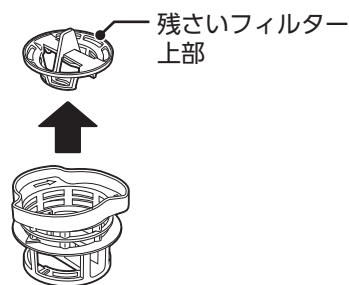
2 残さいフィルターとメッシュトレイを取りはずす

- ① 残さいフィルターを反時計回りに回す。
- ② 上に引き上げると、残さいフィルターがメッシュトレイごとはずれます。
- ③ 残さいフィルターのツメ（2か所）をはずしてメッシュトレイからはずします。
 - ・メッシュトレイの突起部分は取りはずしません。



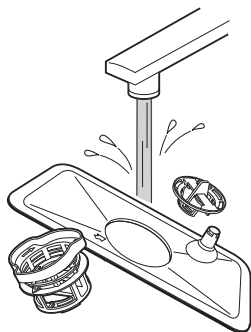
- お買い上げ時は残さいフィルターがはずしにくいことがあります。残さいフィルターのツメを確認しながらはずしてください。

3 残さいフィルターの上部をまっすぐ引き抜いてはずす



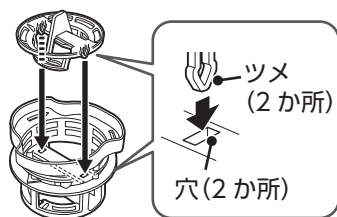
4 残さいフィルター内の残さいを捨て、残さいフィルターとメッシュトレイを流水で洗う

洗った後は水気を拭き取り、乾かしてください。



5 残さいフィルターの上部を下部に差し込み、まっすぐ押し込んで取り付ける

残さいフィルター上部のツメ（2か所）を下部の穴（2か所）に合わせてまっすぐ差し込みます。

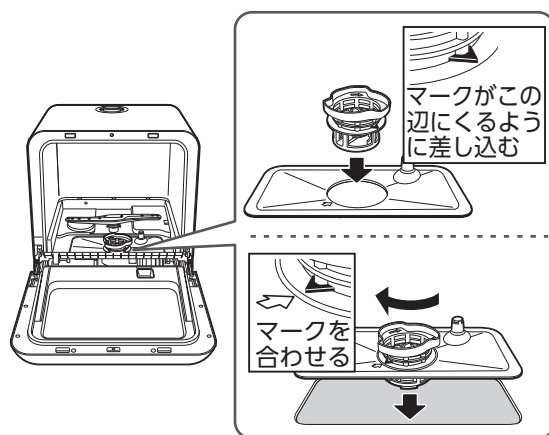


6 メッシュトレイと残さいフィルターを組み立て、本体に取り付ける

残さいフィルターをメッシュトレイにまっすぐ差し込んで組み立てます。

次に、残さいフィルターの▼の刻印の位置に注意しながら庫内の元の位置にセットし、残さいフィルターを時計回りに回して△の位置に合わせます。

- メッシュトレイと残さいフィルターがしっかり取り付けられていることを確認してください。

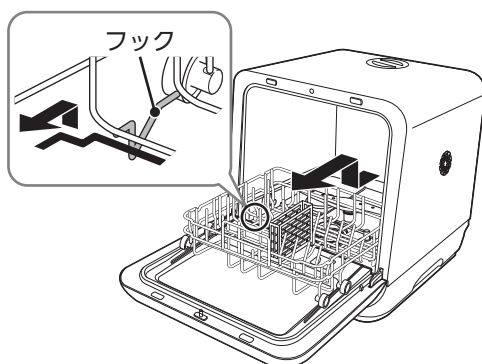


ノズル（大）

ノズル（大）は月に1回程度お手入れしてください。残さいなどが詰まると、洗浄効果が落ちる原因になります。

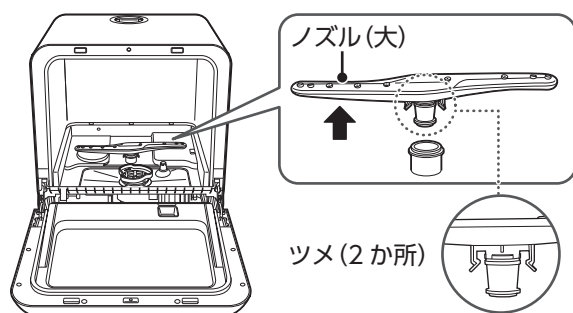
1 かごを取り出す

前に引き出してから少し上に持ち上げ、フックをドアの縁からはずしながら取り出します。



2 ノズル（大）を取りはずす

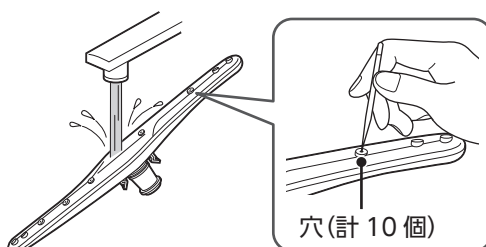
庫内底部からノズル（大）のツメ（2か所）をはずして取りはずします。



3 ノズル（大）を流水で洗う

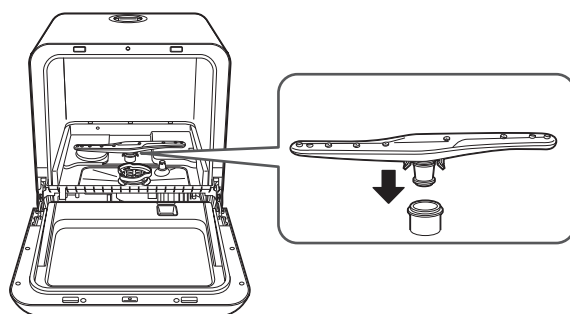
流水で残さいなどを洗い流してください。

- ・つまようじなどを使用し、ノズル（大）の穴の中もお手入れしてください。



4 ノズル（大）を取り付ける

庫内底部にノズル（大）をまっすぐ押し込んで取り付けます。

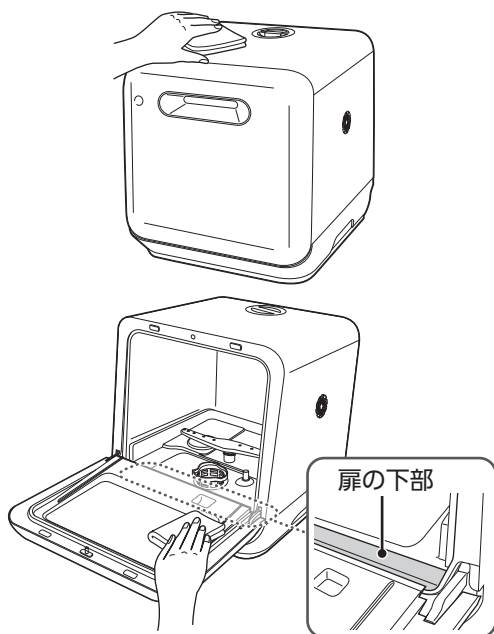


お手入れ つづき

本体

本体は定期的にお手入れしてください。

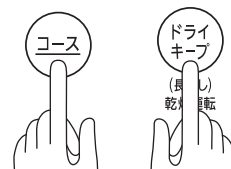
- ・ドア・パッキン・本体外側は、よく絞った布で拭いてから柔らかい布でから拭きしてください。
- ・ノズル（大）の噴射水が直接当たらない庫内及び扉の下部付近（下図参照）は、かごを取り出してからよく絞った柔らかい布で拭いてください。
- ・本体や排水ホース下部は、油汚れを防ぐため、よく絞った柔らかい布で拭いてください。



- ドアパッキンが汚れた場合は、スポンジまたは水にぬらした清潔な布ですぐにお手入れしてください。
- お手入れの際は柔らかい布を使用し、目の粗いスポンジやクレンザーなどは使用しないでください。
本体やドアパッキンの傷の原因になります。
- 一週間以上使用しないときは、よく絞った布でドアパッキンと庫内の汚れを取り除き、柔らかい布でから拭きしてください。
水滴や汚れが付着していると、黒カビが発生する原因になります。
- 本体外側は、漂白剤・洗剤・シンナー・ベンジン・クレンザー・ワックス・消毒液などを使用しないでください。
傷・変形の原因になります。

■ タンクと庫内の水をすべて排水する

- ・ **コース選択ボタン**と**ドライキープボタン**を同時に長押しすると、タンクの中に残っている水や庫内の水がすべて排水されます。



■ ドライキープコースを設定する

- ・ **ドライキープボタン**を約2秒間長押しするとドライキープコースになり、送風と停止を繰り返して、再結露やにおいのこもりを緩和します。



- ・ **ドライキープランプ**が点灯します。
- ・ ドライキープが終了すると自動的に電源が切れます。
- ・ ドライキープ運転中に**スタート／一時停止ボタン**を押してから、またはドアを開けてから30分以上操作しないと、運転が終了し電源が切れます。

据え付け

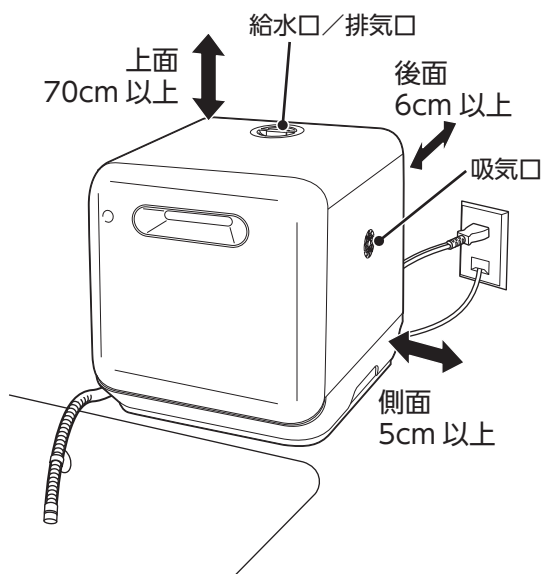
本製品は、以下の説明に従って正しく設置してください。

本書に記載の通りに設置・据え付け・試運転・点検を行わなかった場合、事故や損害が生じてても当社は一切の責任を負いません。

設置場所

- 本製品はキッチンのワークトップなど、水平で安定した場所に設置してください。
- ドアが正常に開き、問題なく操作できるだけの空間を確保してください。
- 給水口／排気口、吸気口はふさがらないでください。
- 本体の金属部分が、流し台のステンレス板や家屋の金属部分などと電氣的に接触しないようご注意ください。法令により義務付けられています。(電気設備の技術基準の解釈)

詳しくは、お住いの市町村の条例に従ってください。



警告



ガスコンロなどの熱源から 15cm 以上離す
火災の原因になります。



注意



禁止

冬場に凍結するおそれがある場所（室温 0℃以下）に置かない



周囲にできる限り物が無い所に置く

本体から出る水蒸気によって、結露することがあります。

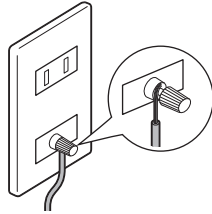


熱源から離し、直射日光の当たらない所に設置する
塗装のはがれや変色の原因になります。

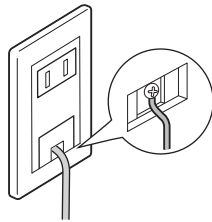
1 アース線をアースに接続する

アース端子付きコンセントがある場合

- ・アース線先端の導線部分を、アース端子に差し込んで固定します。

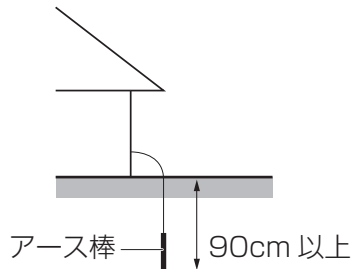


- ・ふた付きの場合はふたを開けて、つないでください。



アース端子付きコンセントがない場合

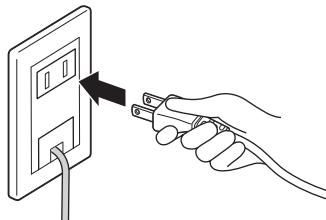
- ・アース棒の設置が必要です。販売店または電気工事店に相談してください。



- アースは必ず接続してください。
- ガス管や水道管、電話線や避雷針のアース線には絶対に接続しないでください。

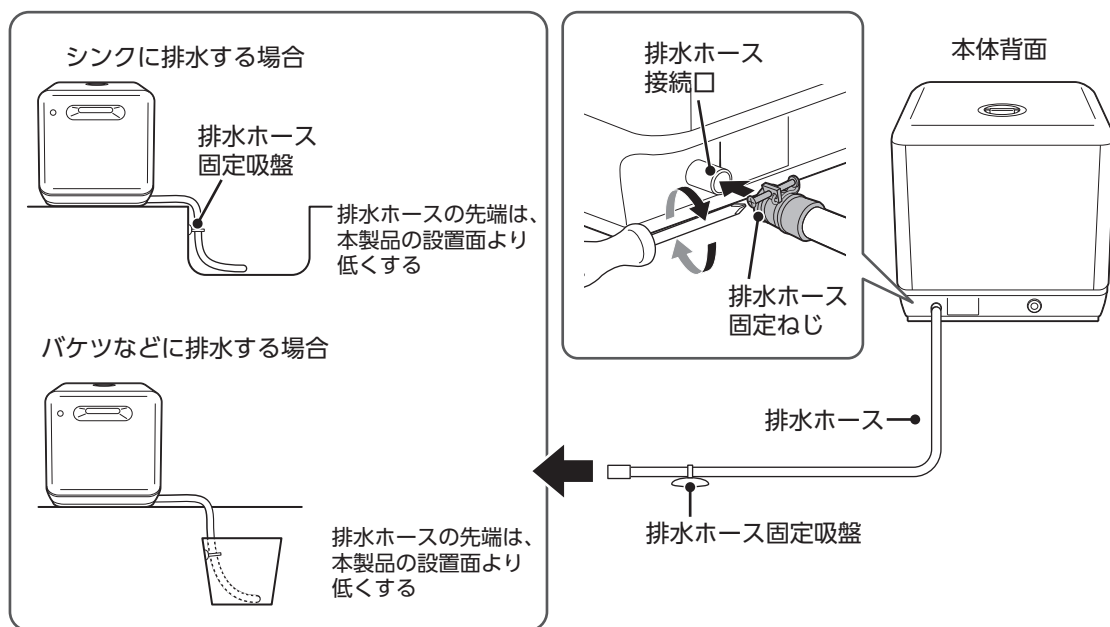
2 電源プラグをコンセントに差し込む

※ 電源は交流100V、定格15A以上のコンセントを単独で使ってください。



排水の接続

● 本製品は給湯機に接続できません。



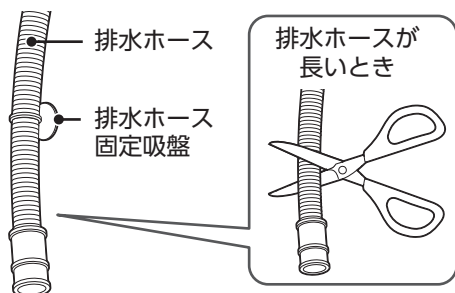
1 排水ホースを本体に接続する

排水ホースを排水ホース接続口に奥までしっかり差し込み、排水ホース固定ねじで固定します。

2 排水ホースを固定する

排水ホース固定吸盤を、排水場所に固定します。

- 排水ホースの先端は、本製品の設置面より低くしてください。
- 排水ホースが長すぎる場合は、はさみなどで余分な部分を切り取ってください。



3 試運転をする

給水した後、お急ぎコースで運転してください。

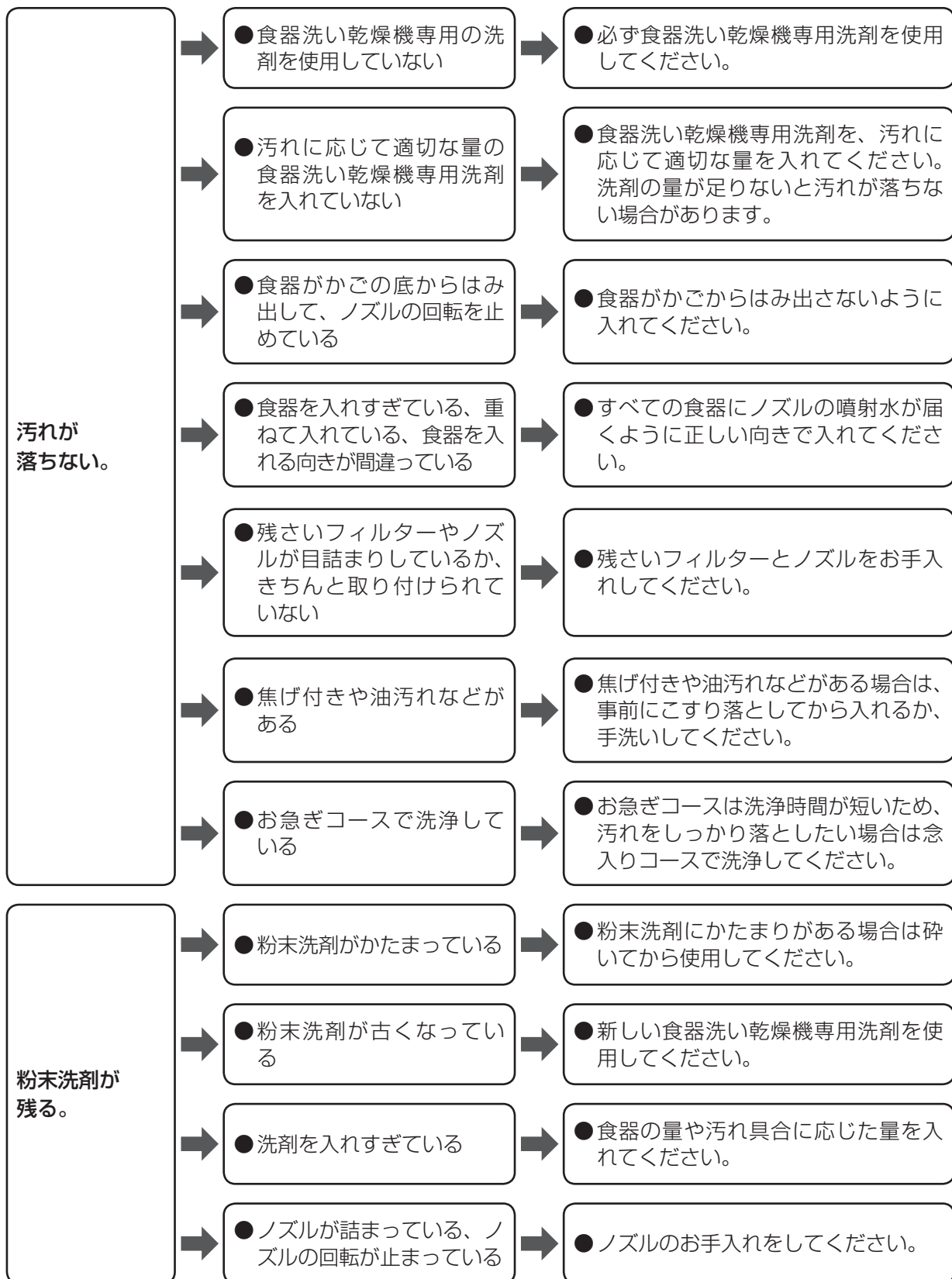
その際に排水ホースの接続部などに水もれがないか確認してください。

- 運転のしかた
 - ➡ 「給水する」 (→P13)
 - ➡ 「洗う／乾燥させる」 (→P13)

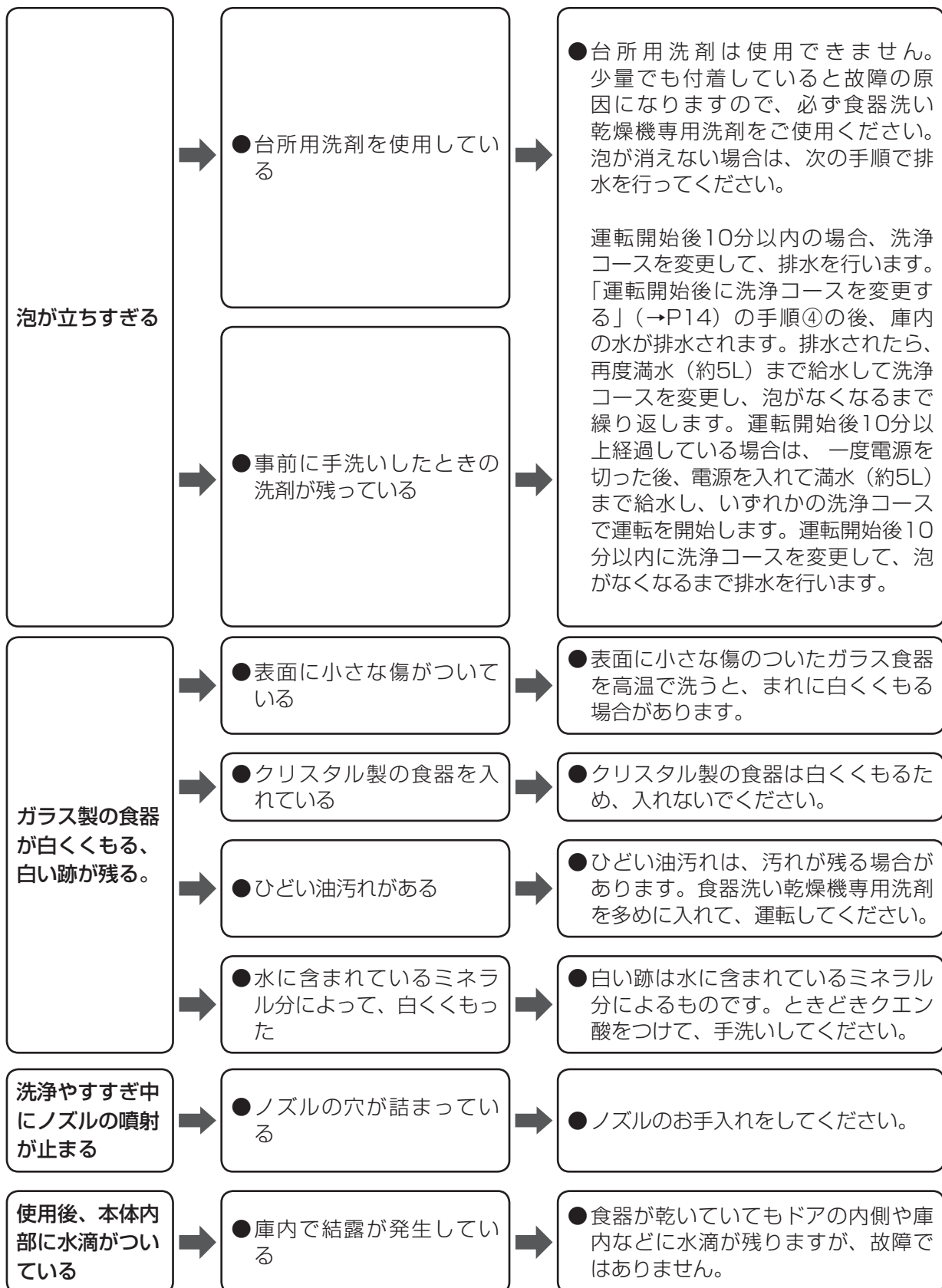
故障かな？と思ったら

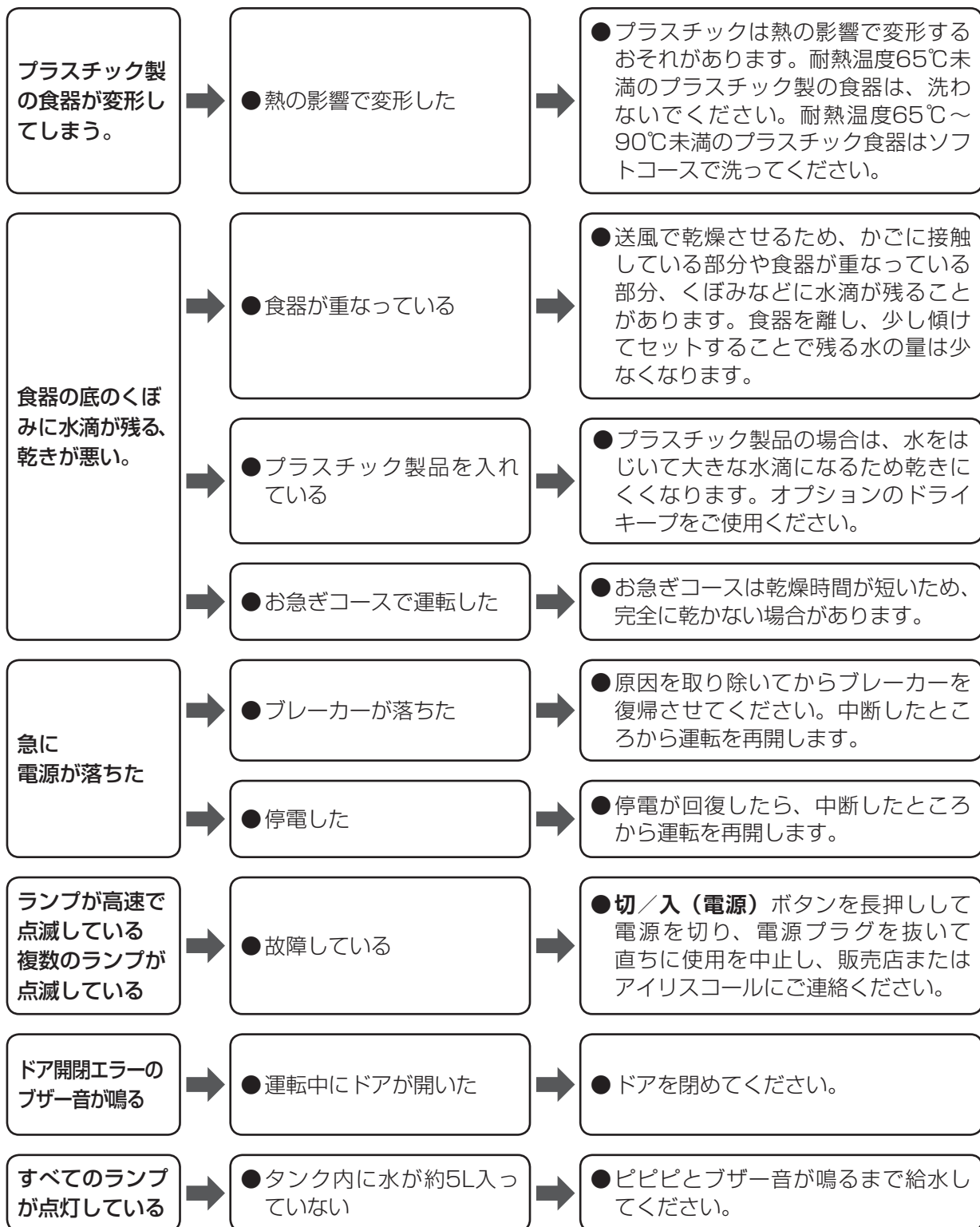
使用中に異常が生じた場合は、修理を依頼される前に本書をよくお読みのうえ、以下の点を確認してください。

状 態	考えられる理由	処 置
電源が入らない	● 電源プラグがコンセントに確実に差し込まれてない	● 電源プラグをコンセントに確実に差し込んでください。
ドアが閉まらない	● 食器がドアに当たっている	● 食器がドアに当たらないようにして、確実にドアを閉めてください。
	● ドアパッキンが固くなじんでいない	● お買い上げ時は密封性を高めるために、ドアパッキンが固くなっています。ご使用していくと次第にパッキンがなじんできます。
設定ができない	● 運転開始後、10分を過ぎている	● 運転開始後、10分以内であれば洗浄コースを変更できます。(→P14)
ぶつかるような音やカタカタ音がする	● 食器がノズルに当たっている	● 食器がかごからはみ出すなどして、ノズルに当たらないようご注意ください。
	● 軽い食器が運転中に移動した	● 軽い食器は運転中に移動することがあるため、軽い食器を入れるときは、できる限り安定するように置いてください。
黄ばむ・黒ずむ。	● 水に含まれている鉄分や茶しぶによって、黄ばんだ、黒ずんだ	● 水に含まれている鉄分や、茶しぶなどによるものです。ときどき食器を手洗いしてください。
残さいフィルターの下に水が溜まっている	● 本体仕様によるもの	● 正常な状態です。故障ではありません。
使用するにつれ、庫内が白くくもる	● 水に含まれているミネラル分によって、白くくもった	● 庫内は食器洗い機専用クリーナー(市販品)を使ってお手入れしてください。



故障かな？と思ったら つづき





それでも解決できないときは

お買い上げの販売店またはアイリスコールにお問い合わせください。



警告 ● 自分で分解・修理・改造しないでください。

仕様

電源	AC 100V (50 / 60Hz共用)
定格消費電力	512W/526W
質量	13.0kg (本体、かご、小物入れ)
外形寸法	幅420 × 奥行445 × 高さ435mm
電源コードの長さ	約2m
タンク容量	約5L
洗浄方式	回転ノズル噴射式
すすぎ方式	ためすすぎ
乾燥方式	送風乾燥
標準収納容量	15 点 (大皿2点、中皿2点、小皿2点、小鉢2点、茶わん2点、汁わん2点、コップなど3点)、小物類 (はし、スプーン等)
専用洗剤の標準使用量	約6g
付属品	かご、小物入れ、排水ホース、給水カップ

※ 商品の仕様は予告なく変更することがあります。

※ 実際に使用するときの消費電力量は、洗浄コースなどによって変わります。

保証とアフターサービス

必ずお読みください。

■ 保証書

お買い上げの際に、所定の事項が記入されている保証書をお買い上げの販売店より必ずお受け取りください。

保証書がないと、保証期間内でも代金を請求させていただく場合がありますので、大切に保管してください。

■ 保証期間

保証期間は、保証書（裏表紙）に記載されています。

保証期間内に故障した場合は、保証規定にしたがって修理させていただきます。

■ 保証期間経過後の修理

お買い上げの販売店または修理専用コールにご相談ください。修理により製品の機能が維持できる場合は、ご要望により有料にて修理いたします。

■ 補修用性能部品の保有期間について

当社はこの製品の補修用性能部品を製造打ち切り後、6年間保有しています。

性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ アフターサービスについて

ご不明な点はお買い上げの販売店またはアイリスコールにお問い合わせください。

愛情点検



長年ご使用の食器洗い乾燥機の点検を！

こんな症状はありませんか

- 電源コードや電源プラグが異常に熱くなる
- 電源コードを動かすと、通電したりしなかったりする
- 本体が変形・破損していたり、焦げくさいにおいがする
- その他異常や故障がある

ご使用中止

故障や事故防止のため、使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜いて、必ず販売店に点検を依頼してください。

食器洗い乾燥機 ISHT-5000

保証書

本書は、お買い上げ日から下記期間内に故障が発生した場合に、下記の保証規定により無料修理を行うことをお約束するものです。

お買い上げ日 ※ 年 月 日		保証期間 お買い上げ日より：1年間 ただし、消耗品（付属品）を除く
お客様	お名前	住所・店名 電話（ ） -
	ご住所 〒	
	電話（ ） -	
	※販売店	

販売店様へ： ※印欄は必ず記入してお渡してください。

保証規定

- 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書きにしたがった正常な使用状態で故障及び損傷した場合には、弊社が無料で修理または交換いたします。
- 保証期間内に、故障などによる無料修理をお受けになる場合には、お買い上げの販売店にて、保証書をご提示のうえ、修理をご依頼ください。
- 保証内容は本製品自体の無料修理に限ります。保証期間内においても、その他の保証はいたしかねます。
- ご転居や贈答品などで本保証書に記入してある販売店に修理をご依頼になれない場合には、アイリスコールにお問い合わせください。
- 保証期間内におきましても次の場合には有料修理になります。
 - 使用上の誤り、不当な修理、改造などによる故障及び損傷
 - お買い上げ後の落下などによる故障及び損傷
 - 火災、地震、その他の天災地変による故障及び損傷
 - 一般家庭用以外（たとえば業務用の長時間使用、車両・船舶への搭載など）に使用された場合の故障及び損傷
 - お買い上げ後の移動、輸送または什器・備品などとの接触による故障及び損傷
 - 本書の提示がない場合
 - 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

修理メモ

※ この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがって、この保証書によって保証書を発行しているもの（保証責任者）、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはアイリスコールにお問い合わせください。

※ 保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間については、「保証とアフターサービス」をご覧ください。

アイリスオーヤマ株式会社 〒980-8510 仙台市青葉区五橋2丁目12番1号
ホームページ <http://www.irisohyama.co.jp/>

製品に関するお問い合わせは
アイリスコール (通話料無料)

0120-311-564

修理に関するお問い合わせは
修理専用コール (通話料無料)

0800-170-7070

受付時間 平日 9:00～17:00、土・日・祝日 9:00～12:00 / 13:00～17:00
(年末年始・夏期休業期間・会社都合による休日を除く)

FAX でのお問い合わせは (通話料無料) **0800-888-2600**

Web からの問い合わせは <https://www.irisohyama.co.jp/support/>
メールフォームにご記入のうえ送信してください